

3、行政簡素化実施要領第一號ノ定員増加ニ関スル件

M-0050

0330

及 號 局 議 合							日 月 付 受 及 號 省	
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號		
送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受		
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日		
昭 和 十 七 年 度 增 員 中 臺 灣 總 督 府 關 係 增 員 與 員 緊 急 已 公 口		增加三關スル件	行政簡素化實施要領第一號ヲ定員	議案			昭 和 十 七 年 十 二 月 十 四 日 局 受 付 第 一 號 施 布 日 號 局 送 月 日	
							決 判 日 文 書 課 長 主 査 監 理 課 長 人 事 課 長 文 書 課 長	
							省 務 廳 第 一 九 號 台 管 第 一 九 號 台 管 第 一 九 號 台 管 第 一 九 號	

規格 B-5

M-0050



一四

Vertical text column on the left side of the page.

Vertical text column in the middle of the page.

Vertical text column on the right side of the page.



Handwritten vertical text above the seal.

19

Vertical text at the bottom right of the page.

M-0050



第	第	第
號	號	號
送	送	送
受	受	受
月	月	月
日	日	日
日	日	日

トヲ得ザルモノト認めラルルニ付之ガ要綱別紙ノ通提出ス

右閣議ヲ請フ

昭和十七年 月 日

内務大臣

内閣總理大臣宛

Vertical text columns within the main document frame, including a circular seal and various administrative markings.

M-0050

0333

閣議ノ承認ヲ要スベキ緊急増員事項

一 生産擴充ノ爲

(1) 大甲溪電源開發工事施行及新高工業都市建設事業實施

國土局土木課

大甲溪 事務官一 理事官一 技師三 屬手六 職工五 備人三  
新高都市 技師一 技師二 技師三 技師四 備人三

(2) 地下資源調査及重要工業煤物資ノ試験研究

殖産局礦務課

技師三 屬手七 雇員一七 備人七

工業研究所

技師一 技師二 屬手九 備人三

(3) 勞務動員機構整備

英務局勞政課

事務官二 屬手四 技師三 雇員一三  
州廳 產案部 地方理事官五 屬手九 技師一 雇員五一  
郡 屬手六 雇員九

二 主要食糧ノ増産及管理並ニ國民生活ノ安定確保ノ爲

(1) 主要食糧ノ全体管理

食糧事務所

理事官一 技師一 屬手一 技師二 技師三 技師四 備人五

(2) 米穀増産 水利施設

國土局土木課

技師五 雇員二

(3) 酒類及煙草ノ製造法耕作法轉換

專賣局

技師二 書記三 技師八 雇員二〇 備人二四三

(4) 燐 專賣

專賣局

技師一 書記一 技師一 書記三 技師四 雇員九 備人三

(5) 醫 院 充實

醫院

院長二 醫官補二 看護長三 書記二 看護婦一〇

三 直接稅等増徴及貯蓄獎勵ノ爲

(1) 直接稅等増徴

財務局稅務課

稅務官一 屬手四 雇員二  
州 廳 地方理事官三 屬手〇 雇員三八 備人七

(2) 貯蓄獎勵

交通局通信部

書記七 交通主事一〇 雇員九〇 備人八七

四 航空保安及國土防衛ノ爲

(1) 氣象機關ノ充實

氣象臺

主任技師一 技師一 事務官一 技師一  
書記二 技師二 雇員六 備人一

(2) 航空保安施設充實

交通局通信部

航空官一 技師二 交通主事五 雇員一五 備人一

- 五、 官設消防署新設……………臺北消防署……………地方警視一、警部一、消防機關士一、警部補二、消防手一五。
- 六、 官設消防署新設……………臺北消防署……………地方警視一、警部一、消防機關士一、警部補二、消防手一五。
- 五、 電氣通信機關充實……………交通部通信部……………書記二、技手八、交通主事一八、雇員四三、雇員四三。
- 四、 鐵道輸送力增強……………交通部鐵道部……………副參事四、技師二、書記二五、技手二二、交通手三、雇員七四、雇員四六。
- 六、 南方基地施設充實……………及南方資源科學研究所設置……………臺北帝國大學……………教授四、助教四、助手八、書記三、技手五、警部北田、雇員三、傭人二三。

總計

事務官 (同警部事務官) 三	屬	一八二	警部	一〇	教授	四
理事官 二	書記	七六	雇員	六二六	助教	四
稅務官 一	技手 一五八 (同機關技手三)	三四	傭人	八二七	助手	八
技師 一五	交通部	一	看護婦	一〇		
參事 一	警部補	一				
副參事 五	消防機關士	一				
地方理事官 七	醫官補	二				
地方警視 一	看護長	三				
警長 二	交通手	三				
航空官 一	消防手 一五〇					



内 譯

總 督 府

事務官 二 理事官 二 技師 八 稅務官 一 屬 二八  
技 手 七六 雇員 九四 傭人 二九 嚮 訖 五

地 方 廳

地方理事官 七 屬 一五四 技 手 一 雇員 一八八 傭人 七  
地方警視 一 警部 一 警部補 一 消防機關士 一 消防手 一五。

文 通 局

鐵 道 部 副參事 四 技師 二 書記 二五 技 手 二二

交通手 三 雇員 七四 傭人 四六

通 信 部 航空官 一 書記 二八 技 手 一〇 交通主事 三四  
雇員 一四七 傭人 一三三 (内 雇員 技手 三)

專 賣 局

參 事 一 副參事 一 技師 三 書記 一六 技 手 一二  
雇員 三九 傭人 五八五

工 業 研 究 所

技 師 一 技 手 三 嚮 訖 一 雇員 九 傭人 一三

臺 北 帝 國 大 學

教 授 四 助教授 四 助 手 八 書 記 三 技 手 五  
嚮 訖 四 雇員 一三 傭人 一三

醫 院

醫 長 二 醫官補 二 看護長 三 書 記 二 看護婦 一〇

氣 象 臺

主任技師 一人 技師 二 昇格 事務官 一 技 師 一 書 記 二  
技 手 二九 雇員 六二 傭人 一

行政簡素化實施要領第一號ニ依ル臺灣  
總督府職員增員調

官制名	奏任	判任	計
總督府	一三	一〇四	一一七
地方轉	八	一五七	一六五
交通局			
(1)鐵道部	六	四七	五三
(2)遞信部	一	七二	七三
專員局	五	二八	三三
工業研究所	一	三	四
臺北帝大	四	二〇	二四
醫學院	二	七	九

氣象臺	計	昭十七年度豫算ニ於ケル増員總數	今國ノ増員ノ増員總數ニ對スル歩合
二	四二	六三	〇.六六
三一	四六九	六三六	〇.七三
三三	五一一	六九九	〇.六九

備考

- (1) 石ニ増グルモノノ外囑託雇傭人増員一六二六人アリト
- (2) 昭和十七年度豫算ニ於ケル増員總數中ニハ既ニ公布済ノモノヲ含マズ
- (3) 昭和十七年度豫算ニ於ケル増員ニシテ既ニ官制公布済ノモノハ殆ドナク陸ニ兵事防空關係及地租調査關係ノ二件アルノミ





理由要旨

昭和十七年度豫算ニ計上セラレタル臺灣總督府部内官吏ノ増員ハ參考資料ニ提示セル如ク外ニ治安維持、計畫經濟ノ遂行、國土開發等ニ關スル重要ナル事務ニ關スルモノ多キモ專ラ事ノ緊急性ヲ考慮シ重點的ニ戰爭遂行上必須且緊急ナル現業的事務若ハ事業ニシテ既定定員ヲ以テシテハ到底其ノ目的遂行ヲ期シ得ザルモノノミヲ差當リ充實セントス

一、生産擴充ニ關スルモノ

大甲溪電源開發事業ハ臺灣工業振興ノ最大ノ根底ヲ爲スモノニシテ新竹及臺中(新高)ニ建設セラレベキ高級航空燃料工業ノ需要ニ充テシテ急遽ナル實施ヲ要シ新高工業都市ノ建設ハ右ニ關聯シ工業地帯ノ水道工事、船舶給水施設事業ヲ急ガントスルモノナリ

地下資源調査ハ軍需工業ノ原料タルバキシルコン、石灰石、石棉、雲母ヲテライト等ノ分布、數量ノ具體的調査ヲ急遽ニ進メントス

臺灣ノ勞務動員機構ハ事變後ノ工業勃興ニ伴フ勞務事情逼迫ニ處スルニ極メテ貧弱ナル陣容ヲ以テ瀰縫的對策ニ止マリタルガ今々南方勞務ハ内地勞務ヘノ協力ハ勿論島内各種鑛工業ノ需要ニ對處スル爲ニハ總督府州廳ノ機構ハ勿論内地、朝鮮ノ職業指導所ニ該當スル市、郡ニハ何等ノ雇員配置ナキ現狀ヲ以テシテハ如何トモ爲ス能ハズ第一線勞務機構ノ整備ハ急務ナリ

二、主要食糧ノ全体管理及増産並ニ國民生活ノ安定確保

戰時食糧確保ノ見地ヨリ内地移出米ノミノ管理ヨリ一躍島内消費米ノ管理更ニ蒸穀以外ノ主要食糧ノ管理ヲ斷行セルニ伴ヒ取扱數量ノ飛躍的

増大ハ検査、會計兩事務倍加ヲ招來セルヲ以テ増員必至ナリ  
市街地、道路、工業用地等ニ依ル既設水田ノ壞廢ヲ補充スベク五、八、四  
甲ノ地域ノ水利施設整備ヲ爲スハ食糧増産上最少限度ノ必要ナリ  
食糧米ノ逼迫ニ對處シ專賣局ニ於ケル酒類製造モ屑米其ノ他代用原料ニ  
依ル製造法ニ轉換スベク又煙草原料ノ耕作方法、煙草製造方法ニ付テモ  
夫々應急必須ノ措置ヲ採ラシメントス

戰時下ニ於ケル島民生活ノ安定確保ヲ圖ル爲生活必需品タル燐寸ノ製  
造專賣ヲ始メタルト國民警察ノ充實ヲ圖ル爲專賣局及醫院ノ充實ヲ期ス

三、直接稅等増徴及貯蓄奨勵

物品稅増徴、遊興飲食稅徴收及第三種所得稅課稅範圍擴張ニ伴フ人員不  
足ハ調査ノ不備從テ課稅ノ不公平、脱稅等ノ害惡ヲ惹起シ本件増員ハ今

々必至ナリ

貯蓄奨勵ハ國民貯蓄ノ取扱、簡易生命保險事業増進ヲ内容トシ國內イン  
フレ抑止、生擴資金獲得ノ爲必須ノ要務タリ

四、航空保安及國土防衛

(1) 南方作戰ノ續行及南方建設進展ノ爲ノ航空機ノ往來繁盛ニ對處シ通  
信連絡、氣象通信、飛行場相互間ノ連絡並ニ航空機検査ヲ充分ナラシ  
ムルト共ニ

(2) 氣象機關ノ整備ハ空、海ノ作戰、交通ノ安全確保ノ爲最喫緊事ニ屬  
ス内地管區氣象臺ノ機構ニ比シ遜色甚カシキ現狀ハ不合理ナルモノト  
謂フベシ

(3) 南支那對岸ノ防空ハ又直ニ臺灣ノ警戒ヲ證明ス又一般火災消防ノ組

織整備ノ要緊切ナリ依テ差當リ臺北ニ官設消防署ヲ新設セントス

五 通信輸送機關整備

(小) 南方作戦ノ進行、南方國建設ノ進展ニ伴ヒ臺灣ヲ中心トスル電氣通信業務ハ繁激倍加セルヲ以テ島内電氣通信機關ノ擴充ハ勿論廣東、海南島ノ通信運營ノ爲ノ充實ハ早急ノ要務ナリ

(四) 南方作戦ノ續行、島内礦工業ノ振興ニ伴フ鐵道輸送ノ完遂ヲ期スルニハ臺灣鐵道ノ立邊レヲ是正シ速カニ輸送力ノ增強ヲ圖ルヲ要ス

六 南方基地施設ノ充實

南方國建設上臺灣ノ有スル特徴ヲ十分ニ發揮シ以テ國家總力發揮ニ資セシムガ爲ニハ各種ノ方策アルモ殊ニ熱帯統治ト熱帯技術ノ經驗ヲ以テ南方資源並ニ南方文化ニ對スル試驗研究ノ根本ヲ確立スル爲臺北帝國大學ニ

兩研究所ヲ附置セントス

一 生産擴充ノ爲

(1) 大甲溪開發事業ノ爲

事務官	一人	
理事官	一人	
技師	三人	増員(國土局土木課)
屬	三人	
技手	六人	

大甲溪開發事業ハ軍部ノ要請ニ基キ高級航空燃料工業ノ需要ニ充テシムガ爲  
 急速ニ實施ヲ要スル發電用堰堤築造工事ニシテ堰堤ノ高サニ〇〇米、最大  
 四十五萬キロワット、常時三十二萬五千キロワットノ發電ヲ可能ナラシメ  
 ントスル劃期的大事業ナリ

仍テ臺灣總督府ニ於テハ總工費一億三千五百萬圓ノ大部分ヲ國庫ニテ負擔  
 スルコトニ決定シ差當リ昭和十七年度以降三ヶ年ノ繼續事業トシテ五千五  
 百萬圓ノ豫算ヲ以テ工事資材ノ輸送機關タル道路ノ開鑿及工所用鐵道ノ敷  
 設並ニ動力施設等準備的諸工事を實施セントスルモノナリ  
 而シテ本事業ノ遂行ニ當テハ理論的ニ將又技術的ニ充分ナル研究ヲ必要ト  
 スルハ勿論資材勞力等ノ確保ノ成否ハ直ニ事業ノ進捗ニ重大ナル影響ヲ及  
 ボスモノナルヲ以テ專任職員ヲ新ニ増置シ本事業ニ專念セシメ以テ工事ノ  
 急速ナル實施ニ遺憾ナキヲ期セントスルモノナリ

新高港工業都市建設事業ノ爲

技師	一人	増員(國土局土木課)
技手	二人	

臺灣中部貿易港トシテノ新高港新設第一期工事ハ昭和十七年度完成ノ豫定ニシテ之ニ附隨シタル大工業港(昭和十六年度以降五箇年繼續)及魚港(昭和十五年度以降五箇年繼續)建設ノ計畫アリ從テ港灣背後ニハ一大産業都市ノ急速ニ新生スルハ必然ニ付新高港工業都市建設事業ヲ昭和十六年度以降十箇年繼續ヲ以テ実施中ニシテ右港灣開設ニ伴ヒ必要不可缺ナル船舶給水並ニ新都市ノ住民ニ對スル給水施設ノ實施ハ刻下ノ急務ナリ依テ總督府ニ於テハ給水人口四萬人(船舶給水ヲ含ム)一日最大給水量一〇、〇〇〇立方米ノ給水施設ヲ昭和十七年度以降三箇年繼續事業トシテ事業費總額百

九十萬六千七百九十三圓ヲ以テ施行セントスルモノナリ而シテ本事業ハ昭和十六年度ヨリ施行中ノ都市建設事業トハ技術的内容異ルノミナラズ該都市建設事業ハ事務的技術的ニ極メテ複雑多岐ニ亘リ現在職員ヲ以テシテハ不足ヲ告グル現況ナルヲ以テ到底之ヲ遂行シ得ズ依テ之ニ從事スル專任職員ヲ新ニ増置シ本事業ニ專念セシメ以テ工事ノ急速ナル實施ニ遺憾ナキヲ期セントスルモノナリ尚本施設ハ最近決定ヲ見タル軍關係某施設ノ要員ニ對スル給水ヲモ包含スルコトナリタルヲ以テ益々重要且緊急ヲ要スルモノナリ

(四) 地下資源調査ノ爲

技師	三人
屬	一人
技手	七人
増員(殖産局鑛務課)	

一、時局ノ進展ニ伴ヒ各種工業特ニ軍需工業ノ原料タルベキジルコン、石灰石、石棉、雲母、硫黄、ラテライト其ノ他特殊鑛物ノ確保ハ極メテ緊切ナルモノアルニ拘ラス我國ニ於テハ之ガ資源ニ乏シク從來需要ノ大部分ヲ海外ニ求メ來リタルコトハ洵ニ遺憾トスル所ナリ

由來臺灣ハ鑛物資源ニ恵マレ既ニ發見セラレタルモノノミニテモ八十餘種ニ及ビ其ノ埋藏量亦豊富ナルヲ豫想セラルルヲ以テ臺灣總督府ニ於テハ夙ニ鑛物及地質調査ヲ実施シ又昭和六年度以降ハ油田調査、同十二年

度以降ハ金屬鑛床調査更ニ同十四年度以降ハ石灰調査ヲ実施シ以テ之ガ開發並ニ増産ニ努メ來リシガ特殊工業原料鑛物就中非金屬鑛物ニ關シテハ未ダ組織的調査ヲ遂ゲタルモノナク殆ンド放置セラレタルガ如キ感アルハ看過スベカラザル所ニシテ臺灣工業化ノ提唱セラレル今日之等工業原料鑛物ヲ調査シテ其ノ全貌ヲ究メ之ガ實現ニ寄與スルコトハ刻下ノ急務ナリト謂ハザルベカラズ

二、又上述セル如ク臺灣ノ鑛物資源ハ極メテ多種ニシテ其ノ分布亦廣範圍ニ亘リ業者中之等鑛物ノ鑛床露頭ヲ發見シ其ノ開發利用ニ着手セントスルニ當リ果シテ旅行ノ價值アリマ否ヤニ付慎重調査ヲ遂ゲルコトハ特殊ニ鑛業ノ經營上缺クベカラザル所ナルガ元來臺灣ニハ專門技術者ニ乏シク勢ヒ之ガ調査ヲ臺灣總督府關係職員又ハ内地ニ於ケル專門技術者ニ委託

セザルベカラザル実情ニ在ルモ臺灣總督府ニハ之ニ從事スベキ職員ヲ缺  
キ又内地ヨリ専門家ヲ招聘セントスルモ現状亦容易ナラザルモノアリ重  
要礦物ノ開發利用上遺憾尠カラザルヲ以テ商工省、朝鮮總督府ト同様臺  
灣總督府ニモ之等ノ受託調査ニ從事スベキ職員ヲ特設シ以テ斯業ノ發展  
ヲ促進セントス

三、然ルニ之等工業原料礦物調査竝ニ受託調査ハ極メテ廣範多岐ニ亘レル  
ヲ以テ工業原料礦物調査ニハ技師二人、屬一人及技手五人、受託調査ニ  
ハ技師一人、屬一人(兼)及技手二人ヲ増置シ以テ圓滑ナル事務ノ運用  
ヲ期セントス



軍需重要燐煤物質ニ關スル試験研究ノ爲

技師 一人

技手 二人

増員（工業研究所）

從來專ラドイツヨリノ供給ニ仰ギ居タル軍需用重要燐煤物質ノ成分タル稀  
有元素トリウム、セリウムノ最モ重要資源タル、モナズ石が臺灣ニ存在ス  
ルコト發見セラレタルヲ以テ之が選礦精練ニ對スル化學的處理、各種ノ燐  
煤作用、燐煤ノ製造等ノ研究ヲ行ハントス

地下資源調査ノ爲

技手 一人

本府ニ於ケル工業原料礦物調査及受託調査ノ實施ニ伴ヒ之ニ對應シ調査ノ  
對象タル岩石、礦物ノ化學分析及試験ヲ為スノ要アルヲ以テ技手一人ヲ增

五

員シ之ニ充當シ地下資源ノ有效ナル利用ヲ為サントス



(ハ) 勞務動員機構整備ノ爲

(1) 勞務ノ積極的供出ノ爲

事務官	一人
屬	一人
技手	一人
増員(總務局勞政課)	

一 臺灣ノ勞務統制ハ國家總動員法ニ基ク勞務統制諸法令ノ施行ニ依リ  
 一應ノ法的體系ヲ整ヘタルモ戰時勞務統制ノ根幹ト爲ルベキ需給調整  
 ニ就テハ尙一段ト對策ノ確立ヲ要スベキ所ナリ  
 島内ニ於ケル勞務ノ需要ハ最近著シク増大シ來リタルノミナラズ南方  
 地域ニ於ケル經濟ノ開發ニ際シテハ積極的ナル供出ヲ要スベキモノト  
 推測セラレルヲ以テ勞務ノ需給ハ今後益々不圓滑ヲ來スモノト思料セ

ラルルモノナリ從テ斯ル需給關係ヲ調整シ戰時下重要施策ノ遂行ニ支  
 障ナカラシメンガ爲ニハ勞務ノ重點主義的配置ヲ強化シ國家ニ依ル勞  
 務ノ適正ナル配置ヲ期スルノ要アルモノニシテ殊ニ事變前勞務對策ニ  
 關シ何等ノ施策ヲ見ザリシ臺灣ニ於テハ勞務ノ結合關係ニ統制ヲ加ヘ  
 以テ其ノ國家的配置ヲ圖ルノ緊要ナルコト言フ候タザル所ナリ之ガ爲  
 官ニ於テ職業紹介事業ヲ管掌スルコトニ依リ勞務ノ需給ヲ調整スルト  
 共ニ併セテ勞務供給事業及勞務者ノ募集ヲ統制シ以テ勞務調整ノ基本  
 的對策ヲ確立セントスルモノナリ

二 而シテ職業紹介事業ノ圓滑ナル運用ヲ圖ランガ爲ニハ本府ニ於テハ  
 其ノ計畫的實施方策ヲ確立スルト共ニ地方機關ノ之ガ実行ニ際シテハ  
 當時指導監督シ適確ナル運用ヲ期スルノ要アル所ニシテ之ガ爲ニハ企

畫部勞務課ニ於ケル現在ノ職員ヲ以テシテハ到底重要且複雑多岐ナル  
本事務ノ遂行ニ萬全ヲ期シ得ザルヲ以テ新ニ事務官一人、屬一人及技  
手一人ヲ増員ノ要アリ

M-0050

0347

市郡	屬	六四人
州廳	理事官	五人
	屬	八人
	增員	

一 勞務行政ノ圓滑ナル遂行ヲ期センガ爲ニハ一元的ニシテ且専門的機構ノ確立ヲ要スベク内地ニ在リテハ中央地方ヲ通ジ殊ニ第一線機關タル國民職業指導所ノ擴充ニ付テハ劃期的強化ヲ圖リツツアル所ナルガ臺灣ニ於テモ昭和十六年總督府企畫部ニ勞務課設置セラレ中央機構ニ付テハ一應ノ整備ヲ見タルモ州廳ニハ職員ノ配置極メテ不充分ナルノミナラス殊ニ市郡ニ至リテハ各種勞務統制法令ノ實行官廳タルニモ拘ラス未ダ職員ノ配置ナキ状態ナル爲現ニ勞務行政ノ遂行ニ甚ダシク支

障ヲ來シツツアル實情ナリ

二 而モ勞務需給ノ調整ハ今後益々重要性ヲ加ヘ現行各種法令ノ圓滑ナル運営ヲ圖ルト共ニ昭和十七年度ニ於テハ市郡ニ於テ職業紹介事務ヲ行ヒ勞務ノ適正ナル配置ニ付萬全ヲ期セントスルモノナルヲ以テ速ニ中央機構ニ對應シ地方勞務行政機構ヲ確立スルノ要アルコト言フ俟タザル所ナリ特ニ市郡ハ内地ニ於ケル職業指導所タルベギモハナレト共ニ勞務行政ノ第一線機關トシテ其ノ重要性愈々増大セントス

三 右ノ如ク現在實施中ノ各種法令ノ運用ニ遺憾ナカラシムルト共ニ今後重要方策ヲ遂行センガ爲ニハ現在ノ地方廳ノ機構ヲ以テシテハ到底之ガ實行ヲ期シ得ラレザルヲ以テ各州ニ理事官、屬一人宛ヲ配置シ現在配置ノ臨時職員ト共ニ産業部ニ勞政課ヲ、各廳ニハ勸業課ハ澎湖廳

ハ總務課ニ屬一人宛ヲ配置シ、各市郡ニハ屬一人宛ヲ配置  
シ、各市ニハ勞政課ヲ、各郡勸業課又ハ庶務課ニ勞政係ヲ設置シ以テ勞  
務行政ノ地方機構ノ整備強化ニ依リ勞務對策ノ實施ニ遺憾ナカラシメ  
勞務動員ノ完遂ヲ期セントスルモノナリ

(2) 勞務ノ移動防止、適正配置強化ノ爲

屬 二人 増員

一、時局下ニ於ケル勞務配置ノ重要性ニ鑑ミ勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ル基礎ヲ確立スル爲昭和十六年三月七日法律第四十八號ヲ以テ國民勞務手帳法制定公布セラレ臺灣ニ於テモ近ク之ヲ實施セシトス

二、而シテ本法實施ニ依ル手帳受有者推計人員ハ三十五萬八千餘人ニシテ國民登録者九萬七千餘人ヲ除クモ二十六萬一千餘人ノ多キニ達シ尙本手帳ハ一度受有セル以上ハ非從業者ト爲ルモ一生受有スベキ性質ノモノナルニ付年ト共ニ累増シ且中央ニ於テハ全島ノ州廳市郡ヲ指導スルト共ニ全島登録カードヲ中央ニ集メ配置計畫ノ適正ヲ期スルコトト爲ルヲ以テ之ガ事務遂行ノ爲ニハ勞務課現在ノ職員ヲ以テシテハ

到底之ガ圓滑ナル実施ヲ期スルコト能ハザルニ付新ニ本府ニハ屬二人ヲ配置シ本事務ノ圓滑ナル遂行ヲ期セントス



州廳屬 五人 增員  
市屬 五人 增員

一、國民勞務手帳制ニ関シテハ既ニ述ベタル所ナルモ臺灣ニ於ケル手帳  
交付官廳ハ市郡(澎湖廳ニ在リテハ廳)ニシテ各州廳ハ市長郡守ヲ指  
導監督スルノ要アリ

二、而シテ各州ニ於テハ國民勞務手帳審査事務其ノ他市郡トノ連絡、統  
計等ニ關スル事務ヲ管掌スルモノナルヲ以テ差當リ昭和十七年度豫算  
定員十人中各州ニ屬一人宛ヲ配置シ以テ本制度ノ遂行ニ遺憾ナキヲ期  
セントス

三、次ニ臺北、新竹、臺中、臺南、高雄ノ各市ハ手帳交付官廳トシテ之  
ガ取扱件數モ相當數ニ上ルヲ豫想セラルルヲ以テ屬一人宛計五人ヲ配

置ノ要アリ

(3)

工場事業場技能者養成ニ関スル事務ノ為

技 手 一人 増員

高度國防力増強ノ為工場事業場ニ於ケル中堅職工ノ確保ハ刻下ノ喫緊事  
 タルヲ失ハズ即チ臺灣ニ於テモ國家總動員法第二十二條ノ規定ニ基ク工  
 場事業場技能者養成令ヲ昭和十五年九月ヨリ實施スルコトトシ先ヅ金屬  
 精鍊及機械關係工場ニ之ヲ適用シ九箇所二百四十七名ノ養成ヲ開始シ昭  
 和十六年ニ於テハ更ニバルブ製造業及工業藥品製造等ヲ新ニ加ヘ十六箇  
 所四百八十五名トナリ昭和十七年ニハ石炭礦業ヲ追加シニ十二箇所八百  
 六十七名ト激増シ今後益々擴大セラレントスル趨勢ニ在リ然ルニ臺灣總  
 督府ニハ本事務擔當ノ專任職員ナキヲ以テ新ニ技手一人ヲ増員シ本事務  
 ヲ專管シ以テ所期ノ目的達成ニ努メントス



(4) 貸金統制強化ノ爲

技手 一人  
一人  
増員(總務局幣政課)

一 貸金統制ハ勞働條件ノ最重要要素タルモノナルガ臺灣ニ於テハ支那  
事變動發後國家總動員法第六條ノ規定ニ基ク旧貸金統制令ヲ昭和十四  
年七月ヨリ實施シ不取取重工業及鞍山部門ニ於ケル未經驗勞働者ノ適  
正賃金ヲ公定シタルモ之ガ實施後其ノ年九月ニハ第二次歐洲戰爭ノ勃  
發スルニ及ビ貸金統制方法ニモ一時應急的措置ヲ講ズルノ必要ヲ生ジ  
同年十月賃金臨時措置令ヲ全産業部門ニ亘リ實施シ價格統制ト併行シ  
低物價政策ニ則應スルノ措置ヲ講ジタリ本令ハ臨時的措施ナリシヲ以  
テ賃金統制ノ恒久的方策ヲ遂行スル爲更ニ現行賃金統制令ヲ昭和十六

年七月ヨリ實施シ今日ニ及ベリ

二 而シテ現行賃金統制令ハ其ノ適用範圍ハ全經濟部門ニ亘リ且最低賃  
金最高初給賃金、平均時間割賃金、最高賃金等總テ賃金委員會ニ諮問  
ノ上國家ノ決定ニ依リ運用スルコトニ規定シ居ルヲ以テ賃金統制ノ恒  
久的方策樹立ニ資スル爲單ニ賃金額ノミナラズ賃金支拂形態、勞務者  
家族構成、生計費調査等ニ關シ間斷ナク關係資料ヲ整備考究スルヲ要  
シ之ガ爲臺灣總督府ニ屬一人技手一人ノ專任職員ヲ新ニ配置シ以テ本  
令運用ノ萬全ヲ期セントス





屬 六人  
 技手 一人  
 増員 (州廳)

現行貸金統制令ハ建設的恒久的ナル統制方策ナルヲ以テ各州廳ニ於テハ  
 總督府ニ呼應シ常ニ其ノ動向ヲ查察シ知悉ノ必要アリ且貸金臨時措置令  
 ニ依ル許可、認可、變更命令發動等積極的ナル事務輻輳シ他面勞務統制  
 關係法令ノ整備ト共ニ既設置職員ニ於テ他ノ事務ヲ兼務スルコト不可能  
 ナル現狀ニ在ルヲ以テ勞務統制方策ノ重要規正手段タル貸金統制ニ關ス  
 ル事務職員トシテ新ニ臺北、新竹、臺中、臺南、高雄各州及花蓮港廳ニ  
 屬各一人、臺北州ニ技手一人ヲ増員設置シ以テ貸金統制ノ實ヲ舉ゲント  
 ス



二、主要食糧ノ全體管理及増産並ニ國民生活ノ安定確保ノ爲

(1) 米穀ノ全體管理ノ爲

屬 一〇人  
技手 四四人  
          } 督員(食糧局)

一 總 說

臺灣總督府ニ於テハ昭和十四年移出米穀ノ管理制度ヲ創設シ爾來島内米穀ノ需給調整ヲ期シツツ移出米穀ノ確保ニ努メ來リタルモ時局ノ要請ニ對處センガ爲ニハ單ニ移出米ノミナラズ島内消費米及主要食糧農産物ニ付テモ之ヲ管理シ食糧全般ニ亘リ周到ナル需給計畫ヲ樹立シ内地移出米穀ノ増大島内配給ノ圓滑ナル運行ヲ期シ以テ内地ヲ通ズル帝國食糧政策ニ即應スルハ最喫緊ノ要務タルヲ以テ之ガ對策トシテ昭

五

和十六年第七十七臨時議會ニ於テ臺灣米穀移出管理特別會計法ノ特別ニ關スル法律及臺灣米穀等應急措置令ノ制定ヲ見タルモノニシテ本法令ニ基キ島内消費米並ニ主要食糧農産物及其ノ加工品ノ買入、賣渡ヲ實施スルノ方途拓ケ茲ニ於テ米穀ノ納入並ニ配給機構ノ整備ト相俟ツテ主要食糧ノ綜合的管理ヲ實施スルコトト爲リ島内米穀ノ需給調整ヲ期シツツ可及的移出米穀ノ確保ヲ圖ラントス  
而シテ之ガ爲昭和十七年度ニ於ケル米穀ノ買入豫定數量ハ島内消費米ヲ包含スル九三萬石ニシテ從來ニ比シ急激ニ増加シ現在職員ヲ以テシテハ事業ノ遂行到底不可能ナルヲ以テ最少限度ニ於テ左ノ職員ヲ必要トス  
(1) 米穀ノ全體的管理ニ伴フ事務増加ノ爲 屬 一〇人

(2) 米穀ノ全体的管理ニ伴フ検査事務増加ノ爲 技手 四四人  
ニ 米穀ノ全体的管理ニ伴フ事務増加ノ爲 屬 一。人

米穀移出管理事業創始以來米穀ノ検査、買入、賣渡、輸送、貯蔵等ノ  
現業ハ地方官署タル米穀事務所及同出張所ヲシテ取扱ハシメ來リタル  
處ナルガ今回消費米ヲモ管理スルコトト爲リ事務所、出張所ノ事務ハ  
急激ニ増加セリ

而シテ現在米穀事務所及同出張所ノ所在ハ當初移出米ノ取扱ノミヲ對  
照トシテ設置セラレタルモノニシテ現下ノ如ク食糧全般ノ管理ヲ爲ス  
ニ於テハ其ノ不利不便尠カラザルモノアリ之ガ現状ニ應ジ圓滑ナル事  
業運営ヲ期センニハ新ニ苗栗、新管、東港、玉里ノ四ヶ所ニ出張所ヲ  
設置スルノ外臺東出張所ヲ事務所ニ昇格セシメ本管理事業ノ遂行ニ遺  
二六

憾ナカラシメントス

右ニ依リ臺東事務所ニハ新ニ歳入徴收分掌官及支出管ヲ設置シ歳入及  
支出事務ヲ分掌セシメ事務ノ迅速且圓滑ヲ圖ルコトトシ之ガ爲屬二人  
ヲ増置シ新設セラルル前記出張所ニ於テハ各庶務、會計ヲ兼ネ購買、  
販賣事務等ノ爲各屬三人(玉里ニ一人)ヲ配置スルコトトシ尚臺南出  
張所ニ於テハ現在屬一人配置アルノミナルヲ以テ販賣事務増加ノ爲新  
ニ屬一人ヲ増置セントス

三 米穀ノ全体的管理ニ伴フ検査事務増加ノ爲 技手 四四人  
米穀移出管理事業ニ伴フ米穀ノ買入品等検査及移出米ノ賣渡検査ノ事  
務ハ臺灣總督府買入米穀品等検査規制ニ依リ現在技手一〇九名ヲ以テ  
之ガ執行ニ當ラシメ來リタリ

然ルニ今回島内消費米ヲモ管理スルコトト爲リタルヲ以テ從來ノ検査  
物品ノ外新ニ各主要市街庄ニ亘リ既設ノ農業倉庫、産業組合倉庫及米  
穀統制組合倉庫、穀摺業者ノ倉庫等ヲ指定シ多数ノ検査物品ヲ増加ス  
ルノ外買入数量ノ如キモ從來ニ比シ急激ニ増加シ検査業務ハ愈々加重  
スル現状ナリ

依テ検査業務ノ萬全ヲ期シ管理事業ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲最少限度  
ノ検査職員ヲ増員セントスルモノナリ

米穀以外ノ食糧農産物及其ノ加工品ノ應急措置ニ關スル事務ノ為

理事官	一人
技師	一人
技手	九人
増員(食糧局)	六人

一、現下ノ急迫セル食糧事情ハ國民食糧確保ノ要愈々緊切ナルモ、アルニ鑑ミ米穀以外ノ食糧農産物及其ノ加工品ニ付テモ之ガ管理ヲ強化シ臺灣米穀移出管理令ノ運用ト相俟ツテ綜合的食糧對策ノ確立遂行ニ遺憾ナキヲ期スル必要アルヲ以テ臺灣米穀移出管理特別會計法ノ特別ニ關スル法律並ニ臺灣米穀等應急措置令ノ制定ヲ見、尙主要食糧ノ配給統制ニ關シテハ甘蔗及キヤソサバノ配給統制ニ關スル府令並ニ物資統

制令ニ基ク小麦配給統制規則及小麦粉等配給統制規則ノ施行ニ依リ臺灣ニ於ケル主要食糧品ノ買入及賣渡ヲ實施スルト共ニ配給統制ノ圓滑ヲ期スルコト爲レリ

二、尙之等主要食糧品ト密接不可分ノ關係ニ在ル其ノ他ノ食糧品ニ關スル事務ニ付テハ島内生産雜穀ニ關シテハ殖産局農務課ニ轉移入雜穀及其ノ加工品等ニ關シテハ同局商工課ニ夫々分屬シ一般商品ノ配給統制ニ附隨シテ實施セラレ居ル状態ニシテ斯クテハ到底全般的食糧ノ需給計畫並ニ之ト併行的ナル食糧關係統制團體ノ一元的統轄等食糧政策ノ圓滑ナル運営ヲ期シ難キヲ以テ之等事務ヲ食糧局ニ移管スルコト爲レリ

三、右ニ依リ増加スベキ事務ノ掌理ニ當リテハ新ニ食糧課ヲ設ケ米穀以



外ノ主要食糧品ニ関スル管理事務及配給統制事務ヲ之ニ統轄セシムル  
ト共ニ地方食糧事務所ニ於ケル買入、賣渡等ノ現業事務ニ従事セシメ  
ンガ爲十七年度豫算ニ於テ認めラレタル職員ノ増加ヲ必要トス  
右ニ依ル職員配置左ノ如シ

食糧課、理事官一人、技師一人、屬六人、技手二人  
事務所、技手七人（各事務所一人宛ノ割）

M-0050

0359

(四) 昭和十八米穀年度米穀増産水利施設工事指導ノ爲

技 手 五人 曾員 國土局土木課)

一 時局下食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ最ニ昭和十六及十七米穀年度供給米ノ増産計畫ヲ樹立シ内外地相協力シテ夫々之ガ達成ニ努メタルモ米穀需給ハ益々逼迫ノ度ヲ加フルノ事態ニ在ルヲ以テ昭和十八米穀年度供給米ニ付テモ引續キ増産ヲ企圖シ一。五八萬石ノ生産確保ニ努ムルコトトナリ其ノ増産方法トシテハ水田栽培地作物ノ調整ニ依ル水稻作付面積ノ増加、優良品種ノ普及増殖、耕種法ノ改善、病虫害ノ防除、肥料其ノ他生産資材ノ確保及十一箇年水利事業計畫ノ水利施設ニ依ル水田ノ平面的擴張、立体的收量増加等ニ依ルノ外既成水田ノ確保ヲ圖ラザルベカラズ然ルニ既成水田ハ市、街地、道路、鐵道、防風林、公用

地等ニ使用スル爲毎年三千余甲ハ壞廢地ト爲リ之ガ爲四萬四千餘石ノ米穀ノ減産トナリ一。五八萬石ヲ確保シ得ザルヲ以テ此ノ水田壞廢地ノ補充トシテ昭和十八米穀年度ニ於テ米穀増産ノ爲水利施設工事ヲ爲シ得ベキ地域十九箇所五八二四甲ヲ選定シ事業費總額二百二十七萬余圓ヲ以テ關係水利組合ヲ事業主体トシテ之ガ工事ヲ行ハシメ既成水田ノ壞廢ニ因ル減産ヲ防止セントス依テ技手五人ヲ増員シ技上ノ指導幹旋ニ從事セシメントス

(ハ) 酒類製造法轉換ノ爲

技師	一人
技手	三人
増員(專賣局)	

一 本島ニ於ケル酒類ノ需要ハ島内資源ノ開發、諸工業ノ勃興其ノ他産業、交通、文化等ノ飛躍的發展ニ伴ヒ比年増加ノ一途ヲ辿リツツアリシガ大東亞戰爭勃發以來帝國南進基地トシテノ本島ノ特殊性ニ依リ出入船舶ノ激増、邦隊ノ増強、勞務者ノ著増等ヲ來シ其ノ需要ハ愈激化スルニ至レルヲ以テ一般ニ對シテハ極力消費規正ヲ圖ル一方生産力擴充方面ニ對シテハ優先的配給ヲ爲シ又軍關係方面ノ要求ニ付テハ可及的充足ヲ圖ル等時局ニ則應スル適正配給ヲ爲シツツアルモ造石數ノ減少及輸送困難ニ依リ内地酒ノ移入激減シタルト本島ニ於ケル米ノ使用

ニ

制限強化ニ依リ島内製品ノ製造モ亦甚ダ困難ナルトニ依リ現在絶對必要量ニ對シ漸クハ割程度ノ供給ヲ爲スニ止マル實情ニ在リ

二 斯クノ如キハ戦後ノ生活ヲ不安ナラシメ延テハ生産力減退ノ因ト爲リ且軍ニ對スル協カヲモ爲シ得ザルノ結果ヲ招來スルコトト爲ルヲ以テ南方據點トシテノ重要ナル使命ヲ有スル本島トシテハ到底忍ビ能ハザル所ナリ依テ酒類ノ絶對必要量ノ確保ヲ期スル爲食糧米トナラザル屑米ノ使用、原料酒精ノ使用量増加、代用原料ノ使用等ニ依ル酒類ノ製造法轉換ヲ圖リ全島工場ニ於テ目下研究實施ヲ進メツツアルモ酒関係技術者ハ大正十一年酒專賣創設以來工場新設ノ場合以外ハ殆ド増員ヲ爲シ來ラザリシ爲酒製造法ノ重大變革期トモ謂フベキ時期ニ際會シ大ナル支障ヲ來シツツアルヲ以テ差當リ技師一人及技手三人ヲ増員シ以テ製造法轉換ニ對スル可及的措置ヲ講セントス





煙草ノ耕作法及製造法轉換

技師	一人
書記	三人
技手	五人
-----	
増員(專賣局)	

一 本島ニ於ケル煙草專賣事業ハ逐年飛躍的増進ヲ示シ昭和十七年度ニ於ケル收入ハ五千二百萬圓ノ多キニ達スル見込ナリ而シテ大東亞戰爭勃發以來人口ノ著増ニ依ル島内需要ノ激増ニ加フルニ南方ノ物的協力ヲ要請ニ基キ製品又ハ原料トシテノ輸出量モ亦著シク増大シツツアルヲ以テ煙草ニ關スル諸般ノ事務ハ近時益々煩雜多ト為リタルノミナラズ南方向製品ハ煙草ガ世界的商品ナルニ鑑ミ品種及品質ニ於テ之ニ適應スベキモノノ製造ヲ目標トスル試驗研究ニ付急速ニ之ガ對策ヲ講ズ

ルノ要アリ斯クノ如ク煙草ノ増産、輸出及製造試驗ニ關スル事務ハ今後愈々繁雜ヲ來ス見込ニシテ現在配置ノ職員ヲ以テシテハ事業ノ圓滑ナル遂行ヲ期シ得ザルモアルヲ以テ差當リ技師一人、書記三人及技手五人ヲ増員シ以テ煙草事業ノ可及的充實ニ資セントス



(二) 燐寸專賣實施ノ爲

参事	一人
副参事	一人
技師	一人
書記	一三人
技手	四人
増員(專賣員)	

一 臺灣ニ於ケル燐寸ノ消費量ハ年約三萬七千丸ニシテ其ノニ割ヲ臺灣ニ於テ製造シハ割ハ内地ニ依存シツツアリシ所最近内地ニ於ケル原料ノ不足更ニ船舶輸送ノ困難等ノ事情ニ依リ臺灣内ノ配給情況ハ動トモセバ圓滑ナラザリシヲ以テ燐寸工業ニ對スル本島ノ立地條件ノ良好ナルト島内製造工業ガ未ダ黎明期ニ屬シ民業ニ及ボス影響モ亦寡クナルトニ依リ燐寸ノ生産及配給ヲ政府ニ於テ管掌スルコトトシ本年七月一

三

日臺灣燐寸專賣令ノ施行ヲ見ルニ至レリ

ニ 仍テ民間ノ燐寸製造工場ヲ買收シ政府ニ於テ製造ヲ開始スルト共ニ配給ニ付テハ政府ノ指定スル賣捌人及小賣人ヲシテ之ニ當ラシメツツアリ然ルニ燐寸專賣ヲ施行スベキ定員ノ増加ニ付テハ行政簡素化ニ關聯シ一時留保トナリ居ルヲ以テ簡素化實現ヲ期トシ茲ニ事業ノ遂行上最少限度ノ要員ヲ要求セントスルモノナリ



(ハ) 醫院充實ノ爲

醫官補	二人	増員(醫院)
看護婦長	三人	

臺灣ニ於テハ從來官立醫院十一ヲ設置シ醫療ヲ實施シ來リタルガ之等醫院ハ臺灣ニ於ケル醫療機關ノ中極タルノミナラス更ニ大東亞戰爭遂行ニ伴ヒ南方ニ發展スル邦人ノ醫療機關タルノ特殊使命ヲ負荷シソツアルハ言ヲ俟タズ本府ニ於テハ夙ニ之ガ重要性ヲ認メ之等醫院ヲ充實シ綜合病院タルノ体制ヲ整備シ來レルガ本年度ニ於テハ臺中、臺南醫院ニ皮膚泌尿器科ヲ新設シ之ニ醫長二人ヲ増員シ嘉義醫院小兒科、高雄醫院産婦人科ニ醫官補各一人ヲ増員シ更ニ臺中、臺南及高雄醫院ニ看護婦長三人ヲ

増員セントス

三 直接税等増徴及貯蓄奨励ノ爲

(1) 直接税等増徴ノ爲

税務官	一人
増員(財務局税務課)	一人
屬	四人

一 本年度内地ニ於ケル直接税等ノ増徴ニ順應スベク臺灣ニ於テモ先ツ  
 所得税ニ関シテハ税率ノ全面的引上ヲ行フト共ニ第二種所得税ニ付テ  
 ハ千二百圓ノ現行免稅點ヲ八百圓ニ引下ケ以テ國民稅的性格ヲ強調シ  
 併セテ醫療費控除制ノ創設ト扶養家族控除ノ範圍方法ニ劃期的改正ヲ  
 断行シタルノ外配當稅、臨時利得稅、特別法人稅等爾今ノ諸稅ニ付テ  
 モ亦夫々必要トサルル改正ヲ行ヒ一面清涼飲料稅、廣告稅及馬券稅等  
 ノ新稅ヲ創設シテ特殊事情下ニ於ケル臺灣戰時稅制ノ補強整備ヲ期ス

ルコトト爲レリ

二 而シテ臺灣ニ於ケル租稅制度ハ昭和十二年度根本的改正ノ直後ニ於  
 テ支那事實特別稅ヲ創設シ時局財政ヘノ第一歩ヲ印シタルモノナルガ  
 其ノ後數次ニ亘ル既存稅ノ増徴ト各種新稅ノ創設トニ依リ昭和十六年  
 度ノ稅收入ハ八千七百六十七萬圓ヲ算シ更ニ昭和十七年度ニ於テ二千  
 九百六十萬圓ヲ加ヘテ其ノ總額實ニ一億一千六百四十五萬圓ノ巨額ニ  
 達セリ之レ本島財政ノ健全ナル飛躍ヲ如實ニ表示シ一面制度ノ複雑化  
 ト課稅物件ノ増加並ニ經濟情勢ノ急激ナル變容等内外ノ事情ハ稅務事  
 務ノ異常ナル激化ヲ招來シ直接稅、間接稅ヲ通ジ不斷ノ指導監督ヲ要  
 スル事務ノ山積ヲ見ルト共ニ新設諸稅ノ運用ニ関シ本島特殊ノ事情ニ  
 應ジ研究管理ヲ要スベキ事項歟シトセズ斯クシテ稅務ノ全貌愈々遊増



且須維多岐化ノ一途ヲ辿ルニ及ビ戰時下徵稅事務ノ指導監督ハ既定ノ  
陣容ヲ以テシテハ到底其ノ十全ヲ期シ得ザルモノアルニ鑑ミ稅務官一  
人及屬四人ヲ増置シ以テ戰時財政ノ運用ニ萬全ヲ期セントス

天

M-0050

0366

地方理事官 二人  
増員 (州廳)  
七〇人

一、本年度内地ニ於ケル直接税等ノ増徴ニ順應スベク臺灣ニ於テモ税金改正又ハ新税ノ創設ヲ圖リ以テ財政強化ノ圖策ニ寄與セントスルモノナルガ之等ノ新設諸税並ニ改正税金施行ニ伴フ増加事務消化ノ爲地方稅務官署ニ屬六十六人増員ノ要アルト、稅務事務ノ異常ナル増加ニ伴フ徵稅機構整備ノ緊要ニ應ジ差當リ本島稅務官署中最モ廣大ナル面積ヲ管轄シツツアル嘉義稅務出張所ノ管内ヲ二分シ新ニ斗六稅務出張所ヲ設置スル爲地方理事官一人及屬四人ヲ増置スルト共ニ昭和十六年度ニ於テ直接稅歲入見込額既ニ一千五百萬圓ヲ算シ更ニ昭和十七年度ニ於ケル増徴額ヲ加フレバ一千八百萬圓ノ巨額ニ達シ且一面會社經理統

制令ノ施行等幾多複雑多岐ナル事務ヲ包蔵スル臺北州稅務課ニ於ケル直稅事務ヲ主管セシムル爲地方理事官一人ヲ増員セントス

二、右増員中新税創設及税金改正ニ依ルモノヲ分類スルコト左ノ如シ

(1) 物品稅増徴ノ爲 屬 一〇人

本稅ノ内容ハ曩ニ臺灣支那事變特別稅令ノ改正ニ依リ一段ト擴充シレ調査件數ノ如キハ二十八萬五千余件ノ多キニ達スルニ至リタル爲屬一〇人程度ノ増員ハ絶對必要トス

(2) 遊興飲食稅徵收ノ爲 屬 一八人

本稅ハ本質的ニ脱稅ノ弊ヲ醸成スル危險性最モ多ク此ノ點一般業者ノ誠實ナル協力ニ負フ所頗ル大ナルモノアリ而シテ本稅ニ付テハ租稅ノ道義低級ナル本島人業者が其ノ大多數ヲ占メ居ルニモ拘ラズ現

在本税ノ為地方ニ配置シアル人員僅カニ四人ニ過ギズ今次改正ニ應  
ジ事變稅徵收ノ完璧ヲ期センガ為最少限度一八人増員ノ要アリ

(3) 第三種所得稅課稅範圍擴張等ノ為 屬 三八人

臺灣所得稅令ノ改正ニ依リ免稅額ヲ千二百圓ヨリ八百圓ニ引下ゲタ  
ル結果從來ノ調査件數ハ一躍倍増シ實ニ三十三萬四千餘件ノ多キニ  
及ビ既配置ノ屬八十六人ヲ以テシテハ到底處理不可能ナルヲ以テ差  
當リ昭和十七年度豫算ニ認メラレタル屬三十八人ヲ増員セントス

(四) 貯蓄獎勵ノ為

(1) 國民貯蓄取扱ノ為

書記 二人  
交通主事 四人  
増員(交通局通信部)

本府郵便貯金ハ貯蓄獎勵運動開始以來毎年度豫期以上ノ好成绩ヲ收メ昭  
和十六年度ニ於テハ一千五百萬圓ヲ目標ニ之ガ勸奨ニ努メタル結果一千  
五百三十餘萬圓ノ増加ヲ示スニ至リタルガ本年度ハ更ニ一千七百萬圓ヲ  
目標トシ之ガ達成ニ努メントス  
依テ貯金管理所及郵便局ニ於ケル郵便貯金事務所要職員トシテ書記二人  
及交通主事四人ヲ増員セントス



(2) 簡易生命保険事業増進ノ爲

書記

五人

交通主事

六人

増員(交通局逓信部)

昭和十七年度ニ於ケル簡易保険ノ新規募集見込件数ハ既定十七年度豫定  
数ニ國民貯蓄奨励ニ基ク増加見込数ヲ斟酌シテ一五二〇〇件ト定メタ  
リ

依テ簡易保険局能率ニ依ル逓信部保険課及郵便局ニ於ケル所要職員トシ  
テ書記五人及交通主事六人ヲ増員セントス





四 航空保安及國土防衛ノ爲  
 (1) 氣象臺等整備擴充ノ爲

奏任技師一人ヲ勅任ニ昇格  
 事務官 一人  
 技師 一人  
 書記 二人  
 技手 九人  
 増員(氣象臺)

臺灣氣象臺ハ大東亞戰下南方氣象ノ中樞機關トシテ重要任務ヲ遂行シツ  
 ツアリ之ガ充實ハ現下ノ重大任務遂上喫緊ノ要務ナリ依テ最ノ企畫院氣  
 象協議會ニ於ケル決議ニ則リ臺長タル技師ヲ勅任ト爲スト共ニ事務官一  
 人及書記二人ヲ増員庶務課ヲ充實シ又昨年六月企畫院氣象協議會ノ決議  
 ニ則リ本臺ニ於ケル豫報係、軍事氣象係、觀測係、航空氣象係、地震課

檢定係及調査係ニ技師一人及技手十人ヲ増員充實シ尚ラジオトラツキン  
 ガ、雲厚等航空氣象觀測ノ爲技手十九人ヲ増員シ氣象臺、測候所飛行場  
 出張所等ニ配置シ航空氣象ノ萬全ヲ期セントス



(四) 航空保安施設運営ノ爲

交通主事 五人増員(交通局通信部)

飛行場相互間ノ連絡ハ航空保安上不可缺ノ要件ニシテ其ノ通信ノ一刻ノ  
遅延ハ重大事故發生ノ原因タルハ言フ俟タザル所ナリ然ルニ本島ニ於テ  
ハ航空保安施設ノ見ルベキモノナカリシ所昭和十六年度ニ於テ臺北――  
宜蘭――花蓮港各飛行場間電信回線及臺南――鳳山――臺東各飛行場間  
電信回線完成セルヲ以テ各飛行場ニ通信所ヲ設置(臺北ハ既設航空無線  
所内ニ併置)シ本年ヨリ之ガ運用ヲ開始セントス故テ之ガ通信要員トシ  
テ交通主事五人ヲ増員セントス

航空試験所設置ノ爲

航空官	一人
技手	二人
	増員(交通部逡信部)

航空ノ保安ハ使用器材ノ完全ナル整備ト之ニ伴フ最正ナル検査ニ俟ツコトハ多言ヲ要セザル所ナリ故ニ航空保安ノ重要性ニ鑑ミ逡信省ニ於テハ曩ニ航空試験所ヲ設置シ器材ノ試験研究ニ全カヲ傾注シツツアリ

然ルニ本島ニ於テハ從來航空機ノ試験研究施設ナク從テ航空機ノ検査ハ總テ外観ト検査官ノ過去ノ經驗トニ依リ判定シ居ルニ過ギハ判定不可能ナルモノハ内地當局ニ検査ヲ依頼シ居ル現狀ニシテ航空保安上誠ニ寒心ニ堪へズ且本島ノ如ク氣温濕度其ノ地自然的條件ヲ異ニスル地域ニ於テハ之ガ航空機ニ及ボス影響モ亦甚ダ特異ナルモノアリ依テ之ガ試験研究

ニ遺憾ナキヲ期シ航空ノ安全ヲ圖ランガ爲本試験所職員トシテ航空官一人、技手二人ヲ増員セントスルモノナリ



(ハ) 臺北消防署設置ノ爲

地方警視	一人
警部	一人
消防機関士	一人
警部補	一人
増員	

一 輒近臺北市ノ發展ハ目覺マシク昭和十六年末ニ於テ戸数七萬七千四百二十八戸、人口三十六萬七千二百十三人ニ達シ内地六大都市ニ次グ市勢ヲ示シ更ニ其ノ發展趨勢ニ鑑ミ人口百二十萬人ヲ目標トセル都市計畫企圖中ニシテ現在臺灣總督府及臺灣軍司令部ノ所在地タルノ外臺灣ノ政治、軍事、産業、經濟、交通、教育等ノ中心地トシテ南支南洋ニ對スル軍事、産業其ノ他我ガ南進國策實現上重要ナル地位ニ在リ

三四

二 然ルニ現在臺北市ノ火災警防ハ公設臺北消防組ト防衛團防火班ノ設備アルノミニシテ強カナル組織及活動力ヲ有スル國ノ消防機關ノ設置ヲ必要トスル所ナルニ依リ臺北消防署ヲ設置シ良能有爲ノ人ヲ蒐メ警察同様ノ組織ノ下ニ指揮監督ノ統一、訓練及活動ノ強化徹底、周到ナル消防計畫ノ設定、消防諸施設ノ充實等ヲ實現シ以テ臺北市火災警防ノ完璧ヲ期セントス

三 尚臺北消防署ノ定員ハ地方警視一人、警部一人、消防機関士一人、警部補一人、判任官待遇消防手百五十人トス



五、通信輸送機關整備ノ爲

(1) 電氣通信機關充實 (交通部遞信部)

(1) 臺南澎湖間搬送電信施設運管ノ爲

技手	二人
交通主事	二人
	増員

臺南澎湖間ハ從來海底線一條ニ依リ疏通シ來レル處曩ニ澎湖廈門間ニ海底線布設セラレ廈門ニ發着スル電報ハ總テ本線ニ依リ疏通セラルルコトトナリタルガ廈門發着ノ電報ノ大部分ハ臺北又ハ内地方面トノ通信ナル爲近時廈門發着電報ノ數増ニ伴ヒ臺南澎湖間ノ電信線ハ常時臺北ト廈門トノ通信ニ使用セラレ中間ノ澎湖局ハ殆シド通信スルノ途ナク澎湖ノ發受スベキ電報ハ常ニ長時間停滯スルノ已ハナキ状態ニ在リ從テ之ヲ救濟

センガ爲ニハ更ニ臺南澎湖間ニ新線一條ヲ布設スルカ又ハ無線通信路ノ開設ヲ要スベキモ右ハ高嶺ノ經費ヲ要スルニ付同區間ニ電信搬送波ヲ重疊スル所謂搬送電信施設ヲ設クルコトトシ本施設ハ本年九月完成ノ見込ナリ依テ之ガ運管要員トシテ技手二人及交通主事二人ヲ増員セントス



(2) 臺北、東京間無線通信施設運営ノ爲

書記	四人
技手	一人
	増員
交通主事	二人

内臺間電報疏通々数ハ一日約一萬三千通アリテ現在之ヲ海底線三條(臺北、長崎間二條、臺北、那霸間一條)無線四回路(臺北、東京間、臺北、大阪間、臺北、鹿児島間、臺北、福岡間)ニ依リ消化シツアルモ近時電報通数ハ極メテ急激ナル増加ヲ示シ且軍用其ノ他重要通信ノ往復相當多數ニ上リ標準員増数ヲ超過スルコト三千余通ニシテ負荷加重ノ爲相當邊延ヲ免レザル現状ニ在ルヲ以テ五キロワット短波無線施設ヲ爲シ通信ノ緩和ヲ圖ラントス

三六



(3) 臺南無線短波通信開始ノ爲

書記 二人

増員

交通主事 一人

近時本島近海ノ情勢ハ著シク變化シ海南島、フィリッピン及佛印方面海上航行ノ邦船噸ニ増加シ之等ノ船舶ニシテ臺南無線局ト連絡セントスルモノ多数ニ及ビ居ルモ各地域トノ交通ハフィリッピン北部ヲ除キ長波又ハ中波ヲ以テシテハ技術的ニ殆ンド不可能ナリ尚本島ヲ基地トスル漁船ハ最近其ノ行動範圍ヲ著シク擴大シ遠ク蘭印方面迄モ出漁スルモノ多数ニ上リツツアリ之等漁船ノ大半ハ短波無線ヲ有シ居ルモ本島ニ短波海岸局皆無ナル爲之ヲ利用シ得ザル實情ニ在ルヲ以テ船舶用短波無線裝置ヲ施シツツアリ

依テ右施設ノ運営要員トシテ書記二人及交通主事一人ヲ増員セントス

(4) 花蓮港同報無線受信ノ爲

書記 三人 増員

本島ニ於テハ量ニ臺北及臺南ニ同報無線受信業務ヲ開始セルモ右以外ノ各地ヘノ「ニュース」供給ハ依然電報又ハ電話ニ依ルノ外ナク支障少カラズ依テ差當リ通信機關充分ナラザル本島東部花蓮港ニ業務ヲ開始セントス

依テ之ガ受信要員トシテ書記三人ヲ増員配置セントス





(5) 二重放送施設運営ノ爲

技手 二人 増員

嘉義市外民雄庄ニ一〇〇キロワットノ環力無線放送施設完成ニ伴ヒ従  
來ノ内地人向放送ヲ改メ内地人向及本島人向ノ二重放送ヲ實施セントシ  
之ガ設備トシテ臺北放送局ニ現在ノ一〇〇キロワットノ放送機ノ外ニ同  
種機一組ヲ増設シテ北部ニ於ケル第一及第二放送施設ニ當テ又新設ノ一  
〇〇キロワットノ放送施設ヲ中南部ニ於ケル第一放送施設トシ更ニ現  
在ノ臺中及臺南放送局ニ於ケル一〇〇キロワットノ機ヲ夫々郊外ニ移轉ス  
ルト共ニ嘉義市ニ一〇五キロワットノ放送所ヲ新設シ此ノ三者ヲ以テ中  
南部ニ於ケル第二放送施設ニ充ツル爲昭和十四年度以降工事中ナリシガ  
十六年度末之ヲ完成シ近クニ重放送開始ノ豫定ナリ

元

依テ嘉義放送所施設ノ運営要員トシテ技手二人ヲ増員セントス

(6) 航路標識職員充實ノ爲

標識技手 一、三 人 増員

本島航路標識が沿岸航行艦船ニ多大ノ貢献ヲ爲シ來レルハ言フ俟タザル所ナルが大東亞戦争ノ進展ニ則シテ防空監視、防衛通信上之等燈臺ニ員増セラレタル使命ハ倍加セラレタリ、然ルニ淡水、花蓮港、安平ノ各燈臺ハ何レモ數個ノ管理標識ヲ有スルニ拘ラズ、從來定員一人ヲ以テ業務ヲ取扱ヒ來リタルモ病氣其ノ他ノ事故ニ對スル代員ナキノミナラス時局業務増加ノ現状ニ在リテハ到底圓滑ナル業務ノ遂行ハ望ミ難キ状態ニアリ依テ前記燈臺ニ標識技手各一人ヲ増員セントス

(7) 軍事郵便事務取扱増加ノ爲

書記

八人

増員

交通主事

十一人

内地及朝鮮其ノ他ノ外地ト海軍艦船部隊トノ間ニ發着スル郵便物ハ從來全部之ヲ内地ノ特定セル郵便局ハ艦船出動先等ニ依ヒ佐世保、吳及横須賀ノ三局ヲ指定スルニ集中處理スルコトナリ居タル處先般海軍省ヨリノ要望ニ基キ本島ノ占ムル地理上ノ優位ヲ利用シ軍事郵便物ノ速達ヲ圖リ以テ軍ノ作戰行動上此ニ戰線ト統後ノ連絡上萬遺憾ナキヲ期スル爲第一ニ遣支艦隊及海南島警備府管下ニ發着スル郵便物ハ全部當管内ニ集中スルコトナレリ  
而シテ之ガ處理ニ付テハ軍側ノ要望此ニ郵便物ノ遞送順路等ヲ考慮シ航

空郵便物ハ臺北局ヲ一般郵便物ハ基隆局ヲ夫々軍事郵便直接交換局ニ指定セリ

次ニ昭和十六年十二月大東亞戰爭勃發ニ因リ本島ト内地、中南支及南方各地相互間ニ軍事航空實施セラレ臺北局ハ大東亞内ノ航空郵便物ノ超越中継局トシテ最極要ナル地位ニ立テ全カヲ以テ軍事郵便物特ニ公用郵便物ノ取扱ニ當リ居レル處公用郵便取扱ノ適否ハ軍ノ作戰統帥ニ直接影響ヲ及ボスヲ以テ慎重ナル取扱ヲ要シ之ガ飛行場受渡及發着連絡ニ関シテハ其ノ都度軍出先當局者ト綿密ナル打合ヲ要シ爲ニ有能ナル專任者ノ配置ハ絶対ニ之ヲ必要トスルモノナリ  
依テ之ガ業務運行要員トシテ書記八人及交通主事十一人ヲ増員セントス



(8) 廣東無線施設運管ノ爲

書記 二人  
交通主事 一人  
増員

廣東ハ南支方面ニ於ケル政治經濟、軍事、交通、文化等ノ要衝ニ當リ皇軍占領下ニアル重要都市ニシテ本邦主要都市間ノ直接無線連絡開始ハ東亞新秩序建設上緊急ヲ要スル處ナルヲ以テ昭和十四、十五年度ニ於テ對東京、對上海及香港、對船舶、航空及氣象用ノ無線施設ヲ完了シ昭和十六年度ニ於テハ對廈門及汕頭用トシテ一キロ短波一基ノ建設ヲ完了シ通信セントス

依テ新施設運管要員トシテ書記二人及交通主事一人ヲ増員セントス

四二

M-0050

0382

(8) 海口無線施設運営ノ為

書記

二人

増員

交通主事

二人

臺南海南島間ニハ臺北ヨリ海口ニ至ル毎週三往復ノ航空路線アルノ外臺  
北―香港―廣東―河内―ツوران―西貢線及臺北―廣東―  
ツوران―西貢線等ノ如ク海南島附近上空ヲ通過スル航空路線ハ將來  
益々増加ノ趨勢ニアリ、然ルニ海南島ニハ航空機ヲ對手トスル無線施設  
ナキ為海南島附近上空ノ航空機ハ已ムナク臺北無線ト交信スル現狀ニア  
リテ一刻ヲ争フ航空通信ノ圓滿ナル使命遂行上遺憾ノ点斷カラザルニ因  
リ昭和十六年度ニ於テ工事費十二萬餘円ヲ以テ海口電報局内ニ航空及氣  
象用トシテ一キロ短波及一キロ中波各一組ヲ設置シタリ依テ書記二人及

交通主事二人ヲ増員シ新施設ノ運営ニ當ラシメントス



(四) 鐵道輸送力増強ノ爲 (交通部通信部)

(一) 輸送力擴充計畫ニ基ク増員

鐵道ノ本質的使命が平戰時ヲ問ハズ輸送力ノ充實擴充ニ存スルコトハ自明ノ理トスル處ナルモ特ニ戰時下ニ於テハ焦眉ノ急務ナリ。臺灣鐵道ニ於テハ種々ノ理由ニ依リ輸送力ノ充實未ダ完カラザル實情ニ在リキ然ルニ昭和十六年度ニ於テ大東亞戰準備ノ爲南方基地トナリタル臺灣鐵道ガ負擔セル軍事輸送ハ次表ノ如ク大激増ヲ來シ其ノ業務遂行ハ實ニ困難ヲ極メタリ

軍需品輸送數量調

年 度	輸送總數	増加比率
昭和十四年度	一七七、六五一	一〇〇%

昭和十五年度	四六九、八三九	二六四
昭和十六年度	一、二六五、〇〇〇	七一一
昭和十七年度	一、五〇〇、〇〇〇	八四四

(見込)

是ニ於テ昭和十七年度ニ於テハ專ラ臺灣鐵道ノ輸送力ヲ増強スルコトヲ自途トシ人約要素ヲ整備強化シ物的施設ヲ重點的ニ整備擴充スルコトニ於テ臺鐵ノ有機的機能ヲ最高度ニ發揮シ以テ時局ノ要請ニ應エンコトヲ期シタリ

光ソ人的要素ノ整備ニ付テハ本部ニ於テ貨車運用ノ成績昂上ヲ期スル爲配車掛ヲ設置シ豫算編成並ニ運用ノ適正敏速ヲ期スル爲主計係ヲ置キ後述物的施設擴充ニ伴フ改良事務ノ増員ヲ考慮シタリ  
現業ノ第一線ニ付テハ臺南驛長以下驛則十八名、臺北機關庫長以下機關

庫測十七名ノ増員ヲ最少限度必要トセリ  
次ニ物的施設ノ整備ニ於テハ復線ノ完成、軌條、橋桁交換等ノ線路強化  
操車場ノ新設、構内施設ノ擴充、車輛ノ増備等最重點的輸送力擴充施策  
ニ專念シタルヲ以テ次ノ如ク豫算ノ増加ヲ來セリ

昭和十六年度

建設改良費

五四三〇、六四四圓

昭和十七年度

建設改良費

六二七四、八九五圓

(1) 驛充實ノ爲

副参事

一人

書記

一人

増員

(4) 臺南驛長ニ充ツル爲

副参事

一人

増員

臺南驛ハ縱貫線輸送系路上重要ナル據點ニシテ其ノ驛務ノ遂行ハ直ニ全線ノ輸送力ニ影響スル所大ナリ右ニ加ヘテ市勢ノ伸張ニ伴ヒ驛勢之亦頗ニ進展シ驛務繁激ヲ極メツツアリ (昭和十七年度東降人員一三、四、五千人、發着貨物一、九、八、千噸、收入一、七、一、三、千圓、驛員總數一、五、〇、六、人) 斯ル重要ナル組成驛ナルニ拘ラズ驛長ヲ未ダ書記ヲ以テ充當シ來リシハ從事員統率、驛務遂行並ニ本線輸送力強化ノ見地ヨリ遺憾ノ點尠カラズ依テ臺南驛長ニ充ツル爲副参事

一人ヲ増員セントス

(5) 驛長ニ充ツル爲

書記

一人

増員

戰時下輸送ノ第一線ニ立ツ驛長ノ職責ニ鑑ミ本年度ハ現存交通手驛長配置驛十八驛(臺東線ヲ除ク)中驛勢並ニ地方的諸事情ヲ斟酌シテ山崎、路竹、暖々、貢寮庄、北勢及大安ノ六驛ニ驛長タル書記六人ヲ増員配置シ輸送陣ヲ強化セントス

(6) 驛助役ニ充ツル爲

書記

九人

増員

驛助役ハ驛長ヲ輔佐シ驛務ニ多數ノ從事員ヲ指揮監督ノ任ニ當ルモノニシテ從來其ノ大部分ハ雇員ヲ以テ充當シ來リタルモ近時輸送並ニ驛務躍



進シツアルニ際シ業務遂行上支障少カラズ依テ鐵道省ト同様原則トシテ助役ヲ判任官トスル方針ヲ以テ之ガ充實ヲ企圖シ本年度ニ於テハ助役タル書記九人ヲ増員シ臺北、基隆、高雄港、樺山、臺南、臺中、嘉義、新竹及彰化ノ各驛ニ配置セントス

(二) 驛貨物掛ニ充ツル爲

書記

三人 増員

戦時輸送力ノ擴充ハ其ノ内容ニ於テ殆ンド貨物輸送ニ關聯スル處ナク從ツテ近年貨物掛事務ハ年ト共ニ繁多ヲ加ヘツアルニ拘ラズ本島鐵道ニ於ケル之ガ驛員ハ概テ雇員ニシテ其ノ職責上遺憾ノ點ヲ免カレザルヲ以テ鐵道省ノ例ニ倣ヒ本年度ニ於テハ書記三人ヲ増員シ基隆、高雄港及新竹ノ各驛ニ配置セントス

(2) 機關庫充實ノ爲

(1) 高雄機關庫長ニ充ツル爲

技師	一人
技手	四人
增員	一人

高雄機關庫ハ配屬機關車四十七輛從事員五百人ニシテ本島鐵道ニ於テ極要ナル地位ヲ占メ之ガ業務ノ如何ハ本島鐵道輸送力ノ擴充ニ直接及ボス影響最モ大ナリ依テ技師一人ヲ增員シ運轉業務ノ遺憾ナキヲ期セントス

(4) 機關庫助役ニ充ツル爲

技手	四人
增員	一人

機關庫助役ハ機關庫長ヲ輔佐シ多數ノ從事員ヲ指揮監督シテ機關車、機

動車ノ檢査修理、列車ノ運轉技術及庶務會計事務ヲ統轄スルモノナルガ比較的乏シキ機關車ヲ以テ益々増大スル輸送量ヲ消化セザルベカラザル機關庫ノ人的構成ヲ強化スル爲ニ本年度ニ於テ技術助役タル技手四人ヲ增員シ基隆、臺北、新竹及彰化ノ各機關庫ニ配置セントス



(3) 機關庫機關車検査掛設置ノ爲

技手 一三人 増員

機關車ノ仕業検査及交番検査ハ臺鐵ニ於テハ從來技術助役又ハ機關士ニ於テ之ニ從事シ來リシモ運轉事故ノ絶滅、輸送能率ノ昂上ヲ計ル爲ニハ車輛ノ検査厳正、保守ノ萬全ヲ期セザルベカラズ其ノ爲ニハ鐵道省及朝鮮鐵道ニ於テ永年實施サレ來リタル如ク新ニ之ヲ專管スル検査掛ヲ設置シテ技手一三人ヲ増員シ基隆一人、臺北二人、新竹二人、彰化二人、嘉義二人、高雄二人、東分庫一人、花蓮港一人ヲ配置セントス

(4) 運輸課配車係設置ノ爲

副參事 一人  
書記 三人 増員

貨物輸送ヲ主管スル貨車集配事務ハ從來貨物規則、統計、小運送等ノ一般貨物業務ト共ニ何レモ運輸課貨物係ニ於テ之ヲ管掌シ來リタル處近時本島産業ノ躍進ト軍事輸送ノ繁忙等ニ伴ヒ輸送量頗ニ増加シ(昭和十六年度四五六八五二大噸、昭和十七年度八五四一〇三二大噸)輸送狀況亦極メテ複雑化スルニ至レリ、之ガ爲貨車運用ノ合理的適正化並ニ貨車効率ノ昂揚ヲ圖ル目的ヲ以テ新ニ配車事務ヲ專管スル配車係ヲ設置シ之ニ貨物係ヨリ從來擔任ノ書記三人ヲ移シ更ニ副參事一人、書記三人ヲ増員シ以テ計畫輸送ノ完璧ヲ期セントス



(5) 經理課主計係設置ノ爲

副參事 一人 増員

從來臺鐵豫算事務ハ一般會計事務ト共ニ經理課會計係ニ於テ之ヲ管掌シ  
來レルモ近時豫算事務ハ複雑膨脹（昭和十七年度豫算收入額<sup>二六八五八二六</sup>支出<sup>八五九六九〇</sup>日）  
額<sup>一六八九三六五</sup>日）シツツアルニ加ヘテ戰時下諸施策ノ調整上特ニ重要ナル  
主計事務ノ内容ニ鑑ミ遺憾ノ點點カラズ依テ新ニ主計係ヲ設ケ係長ニハ  
副參事タル有能練達者ヲ配シ以テ適正妥當敏速ナル豫算ノ編成運用ヲ圖  
ラントス



(6) 鐵道改良費所屬工事事務ノ為

技師	一人	増員
書記	一人	
技手	二人	

前述臺鐵輸送力ノ增強ヲ自達トスル物的施設擴充ハ必然ニ本年度改良費ヲ左ノ如ク増加セラレタリ

昭和十六年度 四一三〇、六四四圓

昭和十七年度 五三、五九八二〇圓

之ガ工事ノ内容ハ通信設備改良、機關庫擴張、車輛増備、車輛改良、臺北鐵道工場機械増設、副生品廠場擴張、驛構内設備改良、敬習所新築、花蓮港修理場設備、高雄驛改良、新竹驛改良、新營驛改良、南部操車場

五二

新設、基隆驛附近改良、瑞芳驛改良、中壢驛改良、斗南驛改良、新城驛改良、彰化、臺南間複線等ノ諸工事トス改良關係ノ事務ヲ擔當スル人員ハ從來參事一人、副參事三人、技師二人、書記三人及技手四人トアリタルガ前述ノ新タル業務量ノ増加ニ伴ヒ新ニ技師一人、書記一人及技手二人ヲ増員シテ之ニ專任セシメントス



(二) 新線開通ニ伴フ増員  
屏東保線區設置ノ爲

書記 一人  
技手 三人  
増員

昭和十六年度ニ於テ溪州枋寮間、社邊東港間ノ新線完成ニ伴ヒ高雄保線區ニ於ケル受持料程ハ二一七料ニ達シ(保線區平均受持料程一二七料) 既ニ負擔過重ナル爲業務遂行上支障歟カラザルヲ以テ新ニ屏東保線區ヲ設置シ(受持料程七七料)之ヲ折半擔當セシメントス依テ區長タル技手一人事務助役タル書記一人及技術助役タル技手二人ヲ増員セントス

(三) 用品資金増額ニ伴フ増員

鐵道業務ノ遂行ハ日々列車ノ運行ヲ維持スルニ在ルヲ以テ之ガ為ニハ非常ニ多種多様ノ業務用品ヲ不斷ニ補給セザルベカラズ何レノ鐵道モ用品資金勘定ヲ設置シ業務用品ノ獲得貯藏並ニ圓滑ナル配給ヲ企圖スル所ナリ

臺鐵ノ用品資金ハ十六年度二五〇、〇〇〇圓ナリシヲ十七年度ニ於テ五〇、〇〇〇圓増額シ六〇、〇〇〇圓トセリ

今資金運用ノ實績タル年八五回ノ回轉率ニヨリ計算スレバ此ノ五〇、〇〇〇圓ノ増額ハ實ニ四、五〇〇、〇〇〇圓ノ購入増トナルヲ以テ増員ヲ必要トス  
經理課用品係充實ノ為

副參事 (一人) 増員

書記 (二人)

鐵道用物品一切ノ準備、検査、出納、配給ヲ掌ル經理課用品係ハ近時取扱数量ノ増加 (昭和七年年度實績 三、五二七、九二四圓、昭和八年年度實績 六、二八八、三三三圓) 不用品回收更正、再生品ノ利用更ニ又鐵道部所有石炭鑛區經營等ノ事務増加セリ依テ之等事務ノ完遂ヲ圖ランガ為副參事一人及書記二人ヲ増加セントス



六、南方基地施設擴充ノ爲

南方文化ノ研究及南方資源科學研究ノ爲

(一) 南方資源科學研究所設置

教授	二人
助教	二人
助手	四人
書記	二人
技手	五人
増員	

(1) 南方資源科學研究所設置ノ趣旨

今々世界歴史ノ大轉換期ニ直面シ南方諸地域ハ根底ヨリ其ノ様相ヲ一變シ我學國ノ理想ハ着々トシテ進展スルト共ニ之等廣大ナル諸地域ニ於ケル各種資源ノ開發、増産、利用ハ長期戰下高度國防國家體

五五

制整備上ノ喫緊事トナリ之ガ科學的調査研究ハ正ニ焦眉ノ急ヲ告ゲ地ノ利ヲ占ムル我ガ臺北帝國大學ノ使命ハ茲ニ愈々重キヲ加カルニ至レリ

然ルニ臺北帝國大學ノ研究ノミヲ以テシテハ級上ノ趣旨ニ對應シ時局即應ノ完璧ヲ期スルコト極メテ困難ナル實情ニ在リ依テ昭和十七年度ヨリ南方資源科學研究所ヲ附置シ以テ高度國防國家ノ建設ニ寄與スル所アラントス

(2) 南方資源科學研究所ノ組織及内容

南方資源科學研究所ハ臺北帝國大學ニ附置シ第一部、第二部、實驗所及庶務課ヲ置キ南方地域ニ於ケル資源ニ關スル科學上ノ調査研究ニ當ラシム



南方資源科學研究所ノ長ハ臺北帝國大學教授ノ中ヨリ任命シ臺北帝國大學總長監督ノ下ニ於テ所務ヲ掌理セシム所長ノ外職員トシテ所員、助手、書記及技手ヲ置キ第一部、第二部、實驗所及庶務課ニ分屬セシム

(イ) 所長及所員

所長ハ臺北帝國大學教授ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ補シ臺北帝國大學總長ノ監督ノ下ニ於テ所務ヲ掌理ス

所員ハ臺北帝國大學教授、助教授ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ補シ所長ノ監督ノ下ニ於テ調査研究ヲ掌ル而シテ所員中專ラ所務ニ従事スル教授、助教授ハ通ジテ四人トシ臺北帝國大學ノ定員外トス

(ロ) 第一部

技所 手員 三人

五

第一部ニ於テハ農林作物及家畜ノ改良、増産、新品種ノ育成等ニ關シ農學的調査ヲ行ヒ熱地ニ適應スル品種ノ決定ヲ爲サントスルモノニシテ差當リ棉及纖維ノ調査研究ニ當ラシムル爲所員一人技手三人ヲ配置セントス

(ハ) 第二部

技所 手員 一人

第二部ニ於テハ農林資源ニ關スル加工、製造並ニ合成製造ノ農藝化學的研究ヲ行ハントスルモノニシテ差當リ燃料用アルコール類及溶劑ノ調査研究ニ當ラシムル爲所員一人及技手二人ヲ配置セントス

(ニ) 實驗所

助所 手員 四人

實驗所ハ南方地域ニ於ケル資源ニ關シ現地ニ於テ實驗研究ヲ行ハ

セントスルモノニシテ差當リ海南島ニ置キ熱帯農作物、有用植物、土壤生産率及病虫害ニ關スル實驗研究ニ當ラシムル爲所員一人助手二人、地下水、海水中ノ有害生物及有用生物ニ關スル調査研究ニ當ラシムル爲所員一人助手二人ヲ配置セントス

(B) 庶務課 書記 二人

(一) 南方文化研究所設置ノ趣旨

庶務課ニ於テハ南方資源科學研究所ノ庶務及會計ニ關スル事務ヲ分掌セシムル爲書記二人ヲ置キ内一人ハ實驗所ニ之ヲ配置セントス

教授	二人
助教授	二人
助手	四人
書記	一人
増員	

(1) 南方文化研究所設置ノ趣旨

今々南方國建設ノ進捗ニ伴ヒ之ガ政治、經濟、民族、文化等ノ人文科學ノ調査研究ハ愈々喫緊ノ要務トナリ臺北帝國大學ノ使命又日ト共ニ重キヲ加フルニ至レリ依テ臺北帝國大學ニ南方文化研究所ヲ附置シ南方地域ニ於ケル思想、宗教、民族、歴史、經濟、法制等各般ニ亘リ調査研究ヲ進メ以テ南方經濟ニ寄與スル所アラントス

(2) 南方文化研究所ノ組織及内容

南方文化研究所ハ臺北帝國大學ニ附置シ第一節、第二節及庶務課ヲ置キ南方地域ニ於ケル人文科學ノ調査研究ニ當ラシム

南方文化研究所ノ長ハ臺北帝國大學教授ノ中ヨリ任命シ臺北帝國大學總長ノ監督ノ下ニ於テ事務ヲ掌理セシム。所長ノ外職員トシテ所

員、助手及書記ヲ置キ第一部、第二部及庶務課ニ分屬セシム  
(4) 所長及所員

所長ハ臺北帝國大學教授ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ補シ臺北帝國大學  
總長ノ監督ノ下ニ於テ所務ヲ掌理ス

所員ハ臺北帝國大學教授、助教ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ補シ所長  
ノ監督ノ下ニ於テ研究ヲ掌ル而シテ所員中專ラ所務ニ従事スル教  
授、助教ハ通ジテ四人トシ臺北帝國大學ノ定員外トス

(10) 第一 部 所 員 三人

第一部ニ於テハ南方地域ニ於ケル政治、法制、經濟、華僑等法制  
經濟關係ノ調査研究ヲ爲サントスルモノニシテ差當リ經濟及華僑  
ニ關スル研究ニ當ラシムル爲所員三人助手三人ヲ配置セントス

(11) 第二 部 所 員 一人

第二部ニ於テハ南方民族ノ宗教、教育、言語、風俗、習慣等文化  
關係、民族關係ノ調査研究ヲ爲サントスルモノニシテ差當リ宗教  
風俗、習慣ノ調査研究ニ當ラシムル爲所員一人、助手一人ヲ配置  
セントス

(12) 庶 務 課 書 記 一人

庶務課ニ於テハ南方文化研究所ノ庶務及會計ニ關スル事務ヲ分掌  
セシムル爲書記一人ヲ配置セントス



(參考資料)

昭和十七年度豫算ニ認めラルレタル前項以外ノ増員事項

一 増員

(一) 總督府

1. 國防保安法及治安維持法施行ノ為 事務官一屬一雇員一備人一

2. 科學技術振興ノ為 技師一雇員二

3. 企業整備ノ為 事務官一技師一屬二技手二雇員六備人四

4. 燃料對策ノ為 技師一技手一雇員二

5. 物資需給調整ノ為 事務官一屬一雇員二

6. 湖葉樹利用開發計畫進行ノ為 技師一技手五雇員九備人六

7. 森林治水事業施行ノ為 技手六雇員二

8. 國有財産整理ノ為 屬五 技手三 雇員六 備人四

9. 國民体力管理ノ為 屬一 雇員三 備人二

10. 戰爭保險事務ノ為 事務官一屬一屬此一雇員四

11. 博愛會職員ノ組替ノ為 技師六 技手二〇

12. 營繕工事ノ為 技師三 技手六 屬此一雇員三 備人二

計 事務官四 技師三 屬二 技手四三 屬此二 雇員八八 備人四三

(二) 地方廳

1. 地方廳統計事務強化ノ為 統計事五 統計事務補二三

2. 經濟警察ノ為 警部補二

3. 警防用電話保全ノ為 技手五 備人二〇

4. 國民体力管理ノ為 技手五 雇員二三

5. 藥事行政機構擴充ノ爲  
技手五、雇員八

6. 産業團體監督ノ爲  
屬四、雇員八

(三) 交通局  
計 屬四、技手一五、統計主事五、統計主事補三、警部補二、雇員二九、傭人二〇

道路課  
1. 中部横断道路開通工事ノ爲  
書記一

鐵道部  
1. 檢車所助役充實ノ爲  
技手一

2. 保線區助役充實ノ爲  
技手四

3. 通信區助役充實ノ爲  
技手三

4. 鐵道工場充實ノ爲  
技手二

計 書記一、技手一〇

逓信部  
1. 高雄郵便局驛内出張所設置ノ爲  
書記一、交通主事一

2. 電話事業増進ノ爲  
書記一、技手一、交通主事一、雇員七、九

3. 簡易保險健康相談所設置ノ爲  
逓信保健技師一、逓信保健技手一、交通主事一、雇員三、傭人一

4. 逓信従業員健康診断ノ爲  
技師一、技手一、雇員三

5. 漁船島燈臺電波點消装置運管ノ爲  
探検技手二

6. 造船事業法施行ノ爲  
書記二

7. 郵便爲替並ニ振替貯金事業増進ノ爲  
書記三、交通主事四

8. 航空監督行政擴充ノ爲  
書記三、技手二

9. 電話線路整備工事ノ爲  
副券事一、書記一、技手一

10 新竹郵便局電話交換方式變更工事ノ爲 技手一  
 11 船員徵用並ニ船員使用事務ノ爲 書記一 雇員一

計 書記二 交通主事七 技手八 技師二 副參事一 雇員八六 備人一

(四) 車賣局  
 交通局計 副參事一 技師二 書記一三 交通主事七 技手一八 雇員八六 備人一  
 1 無水酒精ノ代燃化ニ伴フ事務ノ爲 書記六 技手二 雇員一  
 又事業用品調達ノ爲 書記四

(五) 法院  
 計 書記一〇 技手二 雇員一  
 1 國防保安法及治安維持法施行ノ爲 檢察官二 書記二 通譯二 雇員二 備人二  
 副看守長八

(六) 監獄  
 技手二 雇員五 備人二

(七) 農業試驗所  
 增員總計

事務官	四	屬	一五	雇員	二二
技師	一四	書記	二五	備人	六八
副參事	一	技手	八〇		
檢察官	二	通譯	二		
		副看守長	八		
		交通主事	七		
		統計主事	五		
		統計事務補	二三		
		警部補	二		

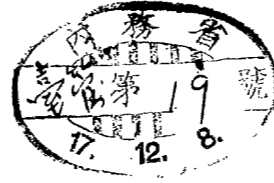


三 定員合理化

- (1) 總督府 奏任事務官二人ヲ勅任事務官ニ屬大人ヲ理事官ニ昇格
- (2) 專賣局 技師一人及書記三人ヲ參事二人トス
- (3) 天然貝斯研究所 所長タル技師一人ヲ勅任ニ昇格
- (4) 法院 書記三人ヲ書記長ニ昇格
- (5) 地方廳 州廳屬五人ヲ地方理事官ニ昇格

M-0050

0401

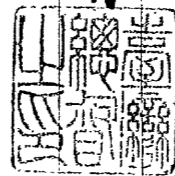


臺灣總督 長谷川 清

昭和十七年十二月八日

臨時内務大臣事務管理

内閣總理大臣 東條英機 殿



昭和十七年度豫算ニ伴フ増員ノ件

閣議ノ承認ヲ要スベキ昭和十七年度豫算ニ伴フ増員説明書別冊ノ通送付候也

臺灣總督府



(参考)

下参考

(六月十六日附内閣甲第ニ号ニ號)

(昭和十七年六月十六日閣議決定)

行政簡素化實施要領

一 行政各廳ノ事務ヲ簡素且適力ナラシムルニ  
ニ人員ヲ整理シ其ノ餘剩ハ之ヲ大東亞全般ニ亘テ活躍スル人士ノ  
充實ニ資スルノ要アルヲ以テ左記各事項實施スルモノトス

記

一 行政各廳ノ定員増加ハ豫算ニ計上セラルベシモノト雖モ勅任官、  
委任官、判任官、雇員備人ヲ適シ處ニ已ムヲ得ザルモノニシテ特  
ニ關連ノ承認ヲ得タルモノノ外一切之ヲ行ハザルコト  
ニ 以下略

拓務省

Large empty rectangular box, likely a placeholder for a signature or stamp.

タイプライター用紙 (赤線部)

(日本標準規格B4)

M-0050

0403

内閣府告示第一七〇號

昭和十七年六月二十五日

内閣府長官 星野 廣 宣

拓務次官 植 嶋 三 郎

行政簡素化實施要領ニ關スル件

本月十六日内閣府告示第三六三號ヲ以テ閣下ノ件通稱設置費減省要領  
第一號ニ依ル人員増加ノ困難承認及第五號ニ依ル行政簡素化ノ計畫  
及其ノ實施ニ關スル具體案ノ提出ニ付テハ左記ノ通り承認要領

附

拓 務 省

一 第一號ニ依ル人員増加ニ付テノ困難承認

行政簡素化ニ依リ人員増加ニ付テ困難承認ノ承認ヲ求  
メテ付スルトキハ、人員増加ノ為ノ官制ノ困難承認又ハ業務費支  
出ノ要求ヲ提出スル前案ノ人員ノ減ニ已ムヲ得ザル事情ヲ具シ其  
ノ理由ヲ提出シテ困難承認ノ承認ヲ求ムルコト。

其別下略

タイプライター用紙 (赤澤納)

CH 本標準規格 B. 4)

